

令和 7 年 5 月 28 日

令和 6 年度 学校法人浪速学院
浪速高等学校・浪速中学校事業報告書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

I. 法人の概要

①教育方針・校訓・教育目標

○ 教育方針

本校の教育方針は、教育基本法に拠り、新教育の理念に則り、民主的、社会的、平和的、自主的、創造的な人格の確立を目標にし、我が国の精神と伝統の文化を重んじ、祖先の精神を受け継ぐ心を育むことに努める。

即ち、神社神道の精神によって、敬神崇祖の精神を養うと共に道徳心を以て社会の秩序を守ることを基本とし、未来に羽ばたく若者を育てることが本校教育の基調である。

○ 校訓

神社神道の理念である「浄・明・正・直」を校訓とし、生徒指導の基本とする。

○ 教育目標

校訓に基づく全人教育は教育の基本である。同時に生徒の才能と適正を開発し、学力体力の増進を図り、個性豊かで心身ともに健全な次代の日本を担う人間を育成する。

1) すべての生徒に人間性豊かな心を！

校訓のもとに徳性を涵養し、礼儀を重んじ、感謝の心をもつ生徒の育成に努める。

2) すべての生徒に学習の喜びを！

生徒の無限の可能性をひきだすために、基礎学力の充実を図り、主体的に学習させることにより、学習する喜びをもたせるよう努める。

3) すべての生徒に体力と気力を！

健康に留意し、「健康の自主管理」をモットーに体力の向上を図り、頑張りのきく体力、気力をもつ積極性のある生徒の育成に努める。

②沿革

1923 年（大正 12 年）	財団法人大阪国学院により「浪速中学校」設立
1948 年（昭和 23 年）	学制改革により「浪速高等学校」と改称
同年	浪速中学校併設
1958 年（昭和 33 年）	「中学校」募集停止
1983 年（昭和 58 年）	「理数科」設置
1985 年（昭和 60 年）	「新総合体育館」竣工
同年	「中学校」募集再開
1989 年（平成元年）	全教室「冷暖房」完備
1997 年（平成 9 年）	普通科に「英数コース」、「総合コース」設置
2005 年（平成 17 年）	高校男女共学・コース再編
同年	特進文科コース、英語集約コース設置
2007 年（平成 19 年）	中学校男女共学スタート
2009 年（平成 21 年）	校外宿泊学習施設「多聞尚学館」開館
同年	関西大学パイロット推薦制度指定校
2010 年（平成 22 年）	校外総合運動場「浪速ふくろうスタジアム」竣工
2011 年（平成 23 年）	法人名を「浪速学院」に改称
同年	「浪速武道館」竣工
同年	「新クラブハウス」「新カフェテリア」竣工
2012 年（平成 24 年）	「千早清明寮」竣工
2013 年（平成 25 年 8 月）	校内人工芝グラウンド 竣工
2014 年（平成 26 年 3 月）	新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」竣工
2015 年（平成 27 年 8 月）	新校舎「中央館」竣工
2016 年（平成 28 年 3 月）	新学院神社 竣工
同年	普通科「文理 S1 コース」設置
2017 年（平成 29 年）	「至誠寮」竣工
同年	校外多目的総合運動場「美原スポーツキャンパス」取得
同年	「多聞尚学館」改修：「多聞ラウンジ」新設
2018 年（平成 30 年 3 月）	「浪速ふくろうベースボールスタジアム」竣工 （「浪速ふくろうスタジアム」を野球専用球場に改修）
同年（平成 30 年 3 月）	「クラブハウス棟」増築
同年（平成 30 年 3 月）	「English Communication Labo」（ECL 教室）新設
2019 年（平成 31 年 3 月）	「浪速八咫烏庭球倶楽部」竣工 （テニスコート 5 面・クラブハウス）
同年（平成 31 年 3 月）	「浪速武道館」増築（空手道場「錬武館」拡張）

同年（令和元年 8 月）	「美原スポーツキャンパス」を「高天原スポーツキャンパス」に改称
同年（令和 2 年 4 月）	多聞果樹園・多聞楽舎完成
同年（令和 2 年 9 月）	校内全ての教室に Wi-Fi 環境整備完了
2021 年（令和 3 年 1 月）	高天原スポーツキャンパス「浪速乾坤一擲ドリームフィールド（「K フィールド」サッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場）」竣工
2022 年（令和 4 年 1 月）	高天原スポーツキャンパス「産土ゴルフクラブ練習場（産土孔球倶楽部）」（シミュレーションゴルフ・打球練習場）竣工
2023 年（令和 5 年 3 月）	別館・NS 館（浪速真田丸館、地上 3 階建・6 教室）竣工
2025 年（令和 7 年 3 月）	新校舎「中学校棟」竣工

③設置する学校

- ・ 浪速高等学校 全日制課程 生徒定員 2400名
(普通科 2400名)
- ・ 浪速中学校 生徒定員 360名

Ⅱ. 法人会議

(1) 理事会

①令和 6 年度第 1 回理事会

開催日時 令和 6 年 5 月 29 日（水）午後 3 時 00 分～午後 4 時 40 分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館 1F）

出席者 理事 9 名 監事 2 名

審議事項 ・ 理事長より

「法人経営と校務運営の理事長による総括報告」について

・ 理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

① 令和 5 年度決算（案）並びに令和 5 年度事業報告（案）

② 令和 5 年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括

- ③ 高校入学金値上げについて
- ④ 学校週 5 日制の検討進捗状況
- ⑤ 令和 5 年度学校評価について 他

②令和 6 年度第 2 回理事会（臨時開催）

開催日時 令和 6 年 11 月 22 日（金）午後 3 時 30 分～午後 3 時 50 分

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館 1F）

出席者 理事 8 名 監事 2 名

審議事項 ・提起・審議事項に関する各種報告について

- ① 学則変更（高等学校・中学校 収容定員の増員）について 他

③令和 6 年度第 3 回理事会

開催日時 令和 6 年 12 月 18 日（水）午後 3 時 00 分～午後 4 時 50 分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館 1F）

出席者 理事 9 名 監事 1 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和6年度中間決算（案）
- ② 令和6年度中間決算に係る監査報告
- ③ 寄附行為の変更（私立学校法改正に伴う対応）
- ④ 令和7(2025)年度入試の進捗状況と今後の展開について
- ⑤ 3 S (Saturday Something Special) について
- ⑥ 学則変更（高校 教育課程） 他

④令和 6 年度第 4 回理事会

開催日時 令和 7 年 3 月 28 日（月）午後 3 時 40 分～午後 4 時 50 分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館 1F）

出席者 理事 10 名 監事 2 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和6年度一次補正予算（案）並びに令和7年度当初予算（案）及び

令和7年度事業計画（案）

- ② 専任教職員 常勤講師 常勤職員の給与改正について
- ③ 令和7年度入学者数入試総括
- ④ 令和6年度大学進学実績（令和7年度大学入試）

・重要審議事項

- ① 私学法の改正と役員人事（案） （資料6）
- ② 「株式会社浪速教育振興」設立
- ③ 「一般社団法人浪速学院校友会」発足
- ④ 「3S（Saturday Something Special）」実行・総括 （資料7）

・人事に関する事項

- ① 令和7年度業務執行体制（管理職及び校務運営体制）
- ② 専任教員の採用について 他

（2）評議員会

①令和6年度第1回評議員

開催日時 令和6年5月29日（水）午後3時20分～午後4時10分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員26名 監事2名

諮問事項 ・理事長より

「法人経営と校務運営の理事長による総括報告」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和5年度決算（案）並びに令和5年度事業報告（案）
- ② 令和5年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 高校入学金値上げについて
- ④ 学校週5日制の検討進捗状況
- ⑤ 令和5年度学校評価について 他

②令和6年度第2回評議員会（臨時開催）

開催日時 令和6年11月22日（金）午後3時00分～午後3時20分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員24名 監事2名

諮問事項 ・提起・審議事項に関する各種報告について

- ① 学則変更（高等学校・中学校 収容定員の増員）について 他

③令和6年度第3回評議員会

開催日時 令和6年12月18日（水）午後3時20分～午後4時10分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員24名 監事1名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和6年度中間決算（案）
- ② 令和6年度中間決算に係る監査報告
- ③ 寄附行為の変更（私立学校法改正に伴う対応）
- ④ 令和7(2025)年度入試の進捗状況と今後の展開について
- ⑤ 3S（Saturday Something Special）について
- ⑥ 学則変更（高校 教育課程） 他

④令和6年度第4回評議員会

開催日時 令和7年3月28日（月）午後3時30分～午後4時30分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員24名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和6年度一次補正予算（案）並びに令和7年度当初予算（案）及び令和7年度事業計画（案）
- ② 専任教職員 常勤講師 常勤職員の給与改正について
- ③ 令和7年度入学者数入試総括
- ④ 令和6年度大学進学実績（令和7年度大学入試）

・重要審議事項

- ① 私学法の改正と役員人事（案） （資料6）
- ② 「株式会社浪速教育振興」設立
- ③ 「一般社団法人浪速学院校友会」発足
- ④ 「3S（Saturday Something Special）」実行・総括 （資料7）

・人事に関する事項

- ① 令和7年度業務執行体制（管理職及び校務運営体制）
- ② 専任教員の採用について 他

Ⅲ. 事業の概要

1. 「ネクスト100に向けての改革元年」新世紀スタート

本法人は、木村理事長を招聘し、平成18年12月の着任以来、「浪速改革」を断行してきた。就業規則の改定・新人事制度並びに新給与体系への移行、人材育成・評価システムの導入等も含めて教職員の人件費抑制施策に踏み切る一方で、入試広報室へ経営資源を投入したきめ細かい生徒増加施策の展開により、財務体質の改善に取り組んだ。また、教職員の意思結集・一致協力のために学校の組織化と新たなマネジメントの実践し、新しい施設設備へ積極投資する広報戦略を展開してきた。これまでの教育環境整備の実践状況は次の通り。

- | | | |
|----------|------------------------------|------------------|
| 平成18年12月 | 木村理事長 | 就任 |
| 平成19年4月 | 木村理事長、校長兼務 | 「浪速改革のスタート」 |
| ①平成19年8月 | 正門「改革の門」 | 更新 |
| ②平成21年4月 | 校外学習合宿施設「多聞尚学館」 | 開設 |
| ③平成22年6月 | 校外グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」 | 開設 |
| ④平成23年3月 | 武道場総合施設「浪速武道館」 | 竣工 |
| ⑤平成23年8月 | クラブハウス棟（部室・教室・カフェテリア） | 竣工 |
| ⑥平成24年8月 | 多聞尚学館「千早清明寮」 | 改修 |
| ⑦平成25年8月 | 校内グラウンド全面人工芝生化 | |
| ⑧平成26年3月 | 新館（現西館）内部改修（中学校職員室、ボクシング道場他） | |
| ⑨ 同年 同月 | 体育館 | 改修 |
| ⑩ 同年 同月 | 新校舎「東館」（5階建）・「天岩屋戸門」 | 竣工 |
| ⑪ 同年 同月 | 旧・学院神社 撤去（岩手県大船渡市移設）、神宮遥拝所 | 新設 |
| ⑫ 同年 同月 | クラブハウス棟「体育教官室」 | 新設 |
| ⑬ 同年 同月 | 外部テニスコート | 開設（1年間） |
| ⑭平成27年3月 | 多聞尚学館 | 大規模改修（外装更新・防水対策） |
| ⑮平成27年8月 | 新校舎「中央館」（8階建） | 竣工 |
| ⑯平成27年9月 | 「トレーニングルーム」 | 新設、「西館音楽室」他 改修 |
| ⑰平成28年3月 | 「第2ボクシング練習場」 | 設置、「中学技術室」 設置改修 |
| ⑱ 同年 同月 | 西館外壁 | 改修 |
| ⑲ 同年 同月 | 「学院神社」 | 竣工、正門・外構工事 竣工 |

上記がこの10年に及ぶ経営改善の成果であり、平成28年5月10日の「新校舎・新学院神社竣工奉祝祭」御斎行をもって「浪速改革」第一ステージが終幕した。他校を追い越し、圧倒的に凌駕する燦然と輝く教育環境が整備され、「新しい学校の形」が完成を迎

え、本校が未来永劫に亘って発展するための「浪速の礎」となり、浪速 100 年の新しい歴史が始まった。

改革 11 年目の 29 年度から第二ステージの幕が開き、時代は留まることなく移り変わり、12 年間の「浪速改革の成果」を享受しながら、30 年度は有終の美を迎えた。

31 年度は御代が替わり、「令和元年」の始まりとともに「浪速改革 令和新時代」は、令和 5 年度に迎える開校 100 周年に向けて、教育の中身の更なる充実発展に教職員一致団結して取り組んだ。

2. 教育トライアングルの整備・充実、有効活用

平成 28 年度に完成した 8 階建の新校舎「中央館」と三代目御本殿の「学院神社」は、「浪速改革」の集大成であり、「新生浪速」の象徴である。校内施設は、これまでに「浪速武道館」・「クラブハウス棟」・「人工芝グラウンド」が既に整備が完了しており、29 年度は新たに近隣に「至誠寮」が加わった。

この校内施設を中心として、校外の学習宿泊施設「多聞尚学館」、同じく校外の多目的グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」、これらの施設によって形成する教育トライアングルが文武両立の拠点となり、広報活動において大きな効果をもたらしてきた。

29 年度は、校外グラウンド「美原スポーツキャンパス」の取得を契機に、教育環境の更なる整備に着手し、「多聞尚学館」は内外装・外構のリフレッシュ、「浪速ふくろうスタジアム」は人工芝生化に伴い多目的グラウンドから野球専用球場「浪速ふくろうベースボールスタジアム」に一新し、施設の整備・充実を図った。

30 年度は「美原スポーツキャンパス」第 1 期工事として「浪速八咫烏庭球倶楽部」（テニスコート 5 面・クラブハウス）を整備し、女子空手道部発足に伴い「浪速武道館」増築した。

31 年度は御代が替わり「令和元年」を迎え、「美原スポーツキャンパス」は「高天原スポーツキャンパス」と改称し、第 2 期工事としてサッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場「浪速乾坤一擲ドリーム・フィールド（Kフィールド）」の整備を着工し、令和 3 年 1 月に完成した。

続いて、第 3 期として「産土ゴルフクラブ練習場（産土孔球倶楽部）」整備に着工し、シミュレーションゴルフ・打球練習場が令和 4 年 1 月に完成した。更にアプローチ・パター練習場が同年 5 月末に完成した。

そして令和 4 年度は、新記録を樹立した生徒数の増加を受けて教育環境整備計画を一部見直し、生徒受入体制整備を優先する。西館北側渡り廊下に接続する別館・NS 館（地上 3 階建・6 教室）の建設に着手し、令和 5 年 3 月に完成した。

続いて、令和 5 年 4 月 30 日に記念すべき開校 100 周年を迎え、当日開催した記念奉祝祭・式典・祝賀会は本校の歴史において輝かしい節目を刻むこととなった。その後、同年 7 月よりこれに接続する新校舎・中学校棟（地上 6 階建）の建設に着手し、遂に本校史上初の中学校専用校舎が令和 7 年 3 月末に完成した。

これらを文武両立の拠点として、教育環境整備を進めていくとともに、令和 7 年度以降も引き続き生徒数の安定確保のために広報活動に有効活用していく。

3. 生徒募集

令和 7 年度（2025 年度）生徒募集状況については、志願者ベースで高校 2,554 名・中学校 464 名となり、6 年度募集と比べて少子化が進展下において高校は前年比+262 名、中学校は前年比+81 名となり、大阪府下私学における上位校として存在感を示した。また、入学者ベースは高校が 1,152 名（前年比+186 名）、中学校が 168 名（前年比+28 名）となり、高校及び高校・中学校合計 1,320 名、前年比+214 名）で今年も記録を更新した。

この結果、令和 7 年度の在籍生徒数は 3,385 名（高校 2,941 名、中学 444 名）となる。令和 6 年度期首と比べて+297 名となり、少子化進展下においても生徒総数 3,385 名という新記録を前年に引き続き更新し、府内屈指の大規模校として地位を確立した。これは「浪速改革」18 年間の取り組みが内外に評価された成果と言える。

令和 8 年度（2026 年度）の生徒募集については、少子化進展下においても、過去の実績に驕ることなく地道な活動を続けていく。この「浪速人気」を不動のものとするため、入試広報部をはじめ本校で働く全教職員の総合力を結集し、これまで以上に直向きな取り組みを続けていく。

4. 類・科・コース並びにクラス数・生徒数

令和 6 年度の全校生徒数は 3,087 名と新記録を樹立した。全校生徒に占める女性比率が 38.8%と前年並みで推移しており、生徒総数 3,000 名を超える府内屈指の大規模校として、より付加価値の高い教育を提供し、しなやかで頼もしい浪速生を育成するために、「新学習指導要領」への対応を軸とし、教育の中身を進化させていく。教科指導とともに、教員は生活指導面において、緊張感をもって対応していく。

5. 学校運営体制

(1) 全般

令和 6 年度は全校生徒数が 3,087 名（前年度対比+184 名）となり、常勤講師 21 名の教員を迎え入れ、教職員総合計 208 名（前年度対比+8 名）で運営を行った。

(2) 管理職

令和 6 年度の管理職は、木村理事長が学院長兼務を継続し、そして、宮木常務理事が副学院長兼務を継続した。

また飯田高等学校長、西田中学校長についても継続した。

森川教頭高等学校教頭を新たに高等学校副校長に任命し、出口高等学校教頭・入試広報担当教頭兼務を高等学校教頭とし、近藤中学校教頭補佐を新たに入試広報部担当教頭とした。山本中学校教頭、吉田上席指導教諭、吉田事務長は継続し、以上の管理職 10 名により校務運営にあたった。

管理補佐職は小林入試広報部教頭補佐、早川事務長補佐の 2 名は継続し校務運営の強化を図り、教職員への指導育成を重視して更なる「学校改革」を推し進めていった。

6. 学校行事

令和 6 年度は、令和 2 年頃から影響が続いてきた新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和 5 年度より 2 類相当から 5 類感染症への移行に伴い、感染状況を注視しつつも「高校伊勢修養学舎」、「中学校伊勢 HR 合宿」、そして「秋季例祭・浪速祭」、「新春拝賀始業式」をはじめ、その他多くの主要な行事が簡略・縮小化することなく本来の形で実施することができ、ようやくコロナ禍以前の姿で各行事を実施することができた。

また、令和 4 年度より再開した「高等学校耐寒訓練」「高校海外語学研修」「エンパワーメントプログラム」「夏期特別選抜合宿(高校 3 年生対象)」に加えて、令和 5 年度は「合唱コンクール」「中学校耐寒金剛山登山」を再開し、高校「陸上競技大会」は新たな試みとして実施した「体育祭」も 2 回目を通常通り実施した。

そして、令和 5 年度に 4 年振りに再開した「中学校修学旅行」は鹿児島県の知覧・指宿・屋久島コースで令和 6 年度も実施した。令和 5 年度の「高校修学旅行」は浪速国際コースの「フィリピン英語研修」と国内 6 コースで実施であったが、令和 6 年度の「高校修学旅行」は海外 4 コースと国内 2 コース、加えて浪速国際コースの「フィリピン英語研修」も実施した。

令和 7 年度も引き続き「高校修学旅行」は海外主体のコース設定で計画し、既に現地視察等の準備を行った。

7. 生徒指導上の目標

令和6年度も前年度に引き続き、「教科指導」並びに「生活指導」を重要課題と位置づける。

「教科指導」に関しては、より付加価値の高い教育の提供のために教員一人一人の質的向上を目指し、更なる「教員の指導力向上」を図り、「浪速の教育力」を確固たるものにする。また、学習指導要領改訂に向けて「主体的・能動的な学習」ができる生徒育成を目指して、「ICT教育推進部」主導によりタブレットや電子黒板等のICT機器によるweb教材やメディア教材を用いた主体的教育を本格的に実践していくと同時に、より効果的な活用方法の研究を進めていった。

「生活指導」に関しては、近年、社会において説明責任、危機管理等の実践が様々な場面で問われる時代であり、保護者・生徒に対する本校の姿勢・指導方針の説明・浸透が大切である。また、学習指導要領改訂に向けて「学びに向かう力・人間性の涵養」「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」といった新しい時代に必要な資質・能力の育成が問われる教育現場において、基本的な人間力の育成が生徒指導の根本と考える。特に、モラル、コミュニケーションの低下による「いじめ問題」「いじめ行為」の早期発見早期指導を充実させ「思いやりの心」「協調性」「感謝する心」を育てる指導を目標に、「生徒の言動に注意を払い見守るやさしさ」と「駄目なものは駄目である」という強い姿勢を持って、全教職員が一致団結して生徒指導に取り組んだ。

IV. 財務の概要

1. 令和6年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

2. 資金収支

収入の部は、生徒等納付金収入1,502百万円（対前年比▲48百万円）、志願者数3,018名（高校2,554名、中学校464名）による手数料収入55百万円、補助金収入1,433百万円（対前年比+209百万円）、新校舎建設資金である長期借入金収入1,000百万円、入学手続き者数1,320名（高校1,152名、中学校168名）による入学金前受金収入303百万円（対前年比+87百万円）、前年度繰越支払資金584百万円等で、収入の部合計6,013百万円（対前年比+1,518百万円）となった。

支出の部は、今年度は校友会設立祝賀会関連支出として管理経費支出より祝賀会開催経費等で約 4 百万円を支出した。

また設備投資については、中学校棟建設工事に係る支出として施設関係支出 2,207 百万円、設備関係支出 107 百万円、合計 2,314 百万円を支出した。

そして、中学校棟竣工を踏まえて、資産運用支出において、減価償却引当特定資産繰入支出 100 百万円の積み増しを行ったうえで、翌年度繰越支払資金は 784 百万円となったが、中学校棟建設追加変更工事費用等の期末未払金▲350 百万円を差し引いた翌年度繰越支払資金は実質 439 百万円となる。

3. 事業活動収支

事業活動収入計 3,032 百万円（対前年比+110 百万円）から事業活動支出計 2,599 百万円を差し引いた基本金組入前収支差額が 432 百万円となった。今年度は中学校棟建設における工事費等の支出に伴い基本金組入額合計▲965 百万円を計上した結果、当年度収支差額▲533 百万円となり、前年度繰越収支差額▲2,084 百万円を通算し翌年度繰越収支差額は▲2,617 百万円となった。

4. 貸借対照表

資産の部合計は 16,244 百万円（対前年比+1,838 百万円）、これより負債の部合計 2,130 百万円を差し引いた本年度の資産総額（差引正味財産）が 14,114 百万円（対前年比+433 百万円・103.2%）となり、平成 28 年度から 9 期連続で 100 億円の大台で推移し、過去最高を更新した。

以 上